

ベネズエラ・ボリバル共和国からの連帯メッセージ

ロシア十月社会主義革命101周年に際し活動家集団思想運動に寄せた

駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使のメッセージ

11月7日は、十月革命／ボリシェヴィキ革命（1917年）の101周年記念日でした。この革命は、ロシアの農民、労働者、低所得者が300年に渡る抑圧から自由になることができ、ブルジョワジーや大土地所有者の支配に終止符を打てると知らしめた、世界的に意義ある出来事でした。

この革命は、より大きなうねりを伴う新しい時代の幕開けを告げました。

十月革命は、より公平な社会を作る必要性を浮き彫りにしました。これ以降、大衆であっても食料、医療、教育、生命への権利を有するということが、世界中の誰も否定できなくなりました。

今日、世界の社会主義の潮流が実践すべきことは、資本主義に吸収されることなく、ロシア革命によって具現化された社会権を拡充し、革命の成果を擁護し続けることです。

これはベネズエラのボリバル主義革命の課題でもあります。ボリバル主義革命は1999年、ウゴ・チャベス司令官の大統領就任により始まり、2013年からはマドゥーロ大統領のもと困難な経済的・国際的情勢の只中においても継続しています。

マドゥーロ大統領の言葉を引用すると、「ベネズエラは十月革命にインスピレーションを受け、新たな社会や人間性を生み出すためボリバル主義革命の道を歩み始めた」のです。ボリバル主義革命の主目的は、自らの主権と独立のために闘う諸国民の尊厳を回復することです。組織を持ち、意志を有する国民は、数多の偉業を成し遂げることができるのです。

ボリバル主義における社会主義には5つの側面があります。政治、経済と生産、社会、領土、精神です。このうち精神が、倫理、文化、価値、連帯、誠実さを高揚し、祖国への忠誠心と愛情を育む新しい人々の社会を作ります。

今年の十月革命記念日が、私たちが共に努力する機会となりますように。私たち世界中の革命支持者を繋ぐこの精神に即し、革命以降認められるようになった権利を維持・擁護するために。日本で、ベネズエラで、その他あらゆる場所で努力を結集しましょう。恵まれない人々の声に耳が傾けられ、より公平で、平和で、核の脅威がなく、全ての人に多くのチャンスがある世界を作るために。

2018年11月5日

駐日ベネズエラ・ボリバル共和国特命全権大使

セイコウ・ルイス・イシカワ・コバヤシ